

7月、9月の秋田県内での記録的な大雨により被害を受けた皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

令和5年度 第1回定時社員総会

令和5年5月20日(土)中央シルバーエリア視聴覚室にて、社員総会が開催されました。(参加者34名・委任者231名)

はじめに和田会長から「今年10月28日・29日の2日間に渡り、第27回社会福祉士東北・北海道研修大会を本県で開催します。今年度から東北ブロックに北海道も加わり、初の7道県での開催となります。研修そのものにももちろん意義がありますが、懇親会での交流も大事です。県外からはもちろん、県内からもたくさんの方々に参加していただきたいと思っております。」とあいさつがありました。

議案・報告事項は下記の通りです。

◆議案

第一号議案 令和4年度決算報告について
議案について承認されました。

◆報告事項

令和4年度 事業報告について
令和4年3月31日現在の会員数390名
年度内入会16名 退会14名

令和5年3月31日現在の会員数392名
令和5年5月20日現在の会員数405名

※令和4年度から若年者への入会待遇(初年度年会費を無料とするキャンペーン)が始まりましたが、入会者のうち対象となる人はいませんでした。

◆理事会報告

委員会委員の選任について

第1回理事会で可決確定した委員会委員の選任について報告

◆その他の報告

- (1) ばあとなあ秋田から、受任状況等について
- (2) 生涯研修センターから、基礎研修およびスーパービジョン研修について

<発行>
一般社団法人
秋田県社会福祉士会
<発行責任者> 和田 士郎
<事務局>
秋田市旭北栄町1-5
(秋田県社会福祉会館内)
<TEL>
018-896-7881
<FAX>
018-896-7882
<MAIL>
akitaken-csw@flute.ocn.ne.jp
<URL>
<http://www.akita-csw.org/>
編集 広報委員会

- ・ 令和5年度第1回定時社員総会
- ・ 総合研修会
- ・ 認定社会福祉士を取得するには
- ・ スーパービジョン受講の感想
- ・ 気分転換におすすめエンタメ
- ・ ペンリレー



参加者の様子

総合研修会

中央シルバーエリア視聴覚室を会場に今年度の総合研修会が開催されました。空席がないほどの会員の参加があり盛大に開催されました。ここ数年の総合研修は会員の実践報告と実践の共有という内容を中心に行われてきましたが、今年度は趣向を変えて、10月に秋田県が担当し、秋田市で開催される東北・北海道研修大会に向けての総合研修となりました。

テーマは「秋田県社会福祉士会の将来を、社会福祉士がつながりあうことの意義について考える」。

会場からの声も聴きながら会員相互の交流促進、秋田県社会福祉士会の将来展望についてともに考える機会を持ちたいと座談会形式で実施しています。

秋田県社会福祉士会副会長伊藤政利氏の進行のもと、3人の登壇者が秋田県社会福祉士の「5つの目的とする活動」を再認識する良い機会として、その実際の活動を中心に鼎談しています。YouTubeで配信していますのでぜひ、見ていただきたいと思います。



登壇者は鈴木卓氏、工藤摂子氏、成田和幸氏の3名でした。

受講者の感想

成田 あゆみ

私は生活相談員として今の職場に勤めて2年目となります。今回機会を頂き社会福祉士の総合研修会に参加する事が出来ました。

今回の研修を受けて、私自身大学4年生の時共に頑張る仲間の存在が心強かったことを思い出しました。社会福祉士が繋がりあう事の意義とはこうした切磋琢磨する仲間の存在がある事であり、様々な職種の方とのつながりから共に切磋琢磨できると感じました。そして、職場外で仲間が出来る事や様々な所に連れ出してもらえ、職場外に相談できる場があるということに魅力を感じました。

総合研修会の様子は秋田県社会福祉士のホームページのトップ画面からYouTubeチャンネルにアクセスしご覧になることが出来ます。

今回、職場の先輩方からのお誘いにより研修会に参加することができ、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。会場には大学時代にお世話になった先生もおり、久しぶりにお会いすることができ、それも一つのつながりであると感じました。

一人では参加することはなかったかもしれませんが、職場の先輩方や他事業所の先輩職員に誘っていただき、社会福祉士の雰囲気を感じる事ができてよかったです。同じ分野ではなく、様々な分野で活躍されている方々のお話を今回は間近で聞く事ができました。パネリストの方々には指導職につかれています方もおりました。その方々のお話から、現場での役職が上がるに連れ、自分自身の相談がしにくくなる事が分かりました。新人の私でさえも自分の悩みを打ち明けられることが正直得意ではありません。ですが、こうした研修会に参加する事で自分の悩みを打ち明けたり、同じ問題を共有・解決したりできたらと感じました。

認定社会福祉士を 取得するには

認定社会福祉士とは

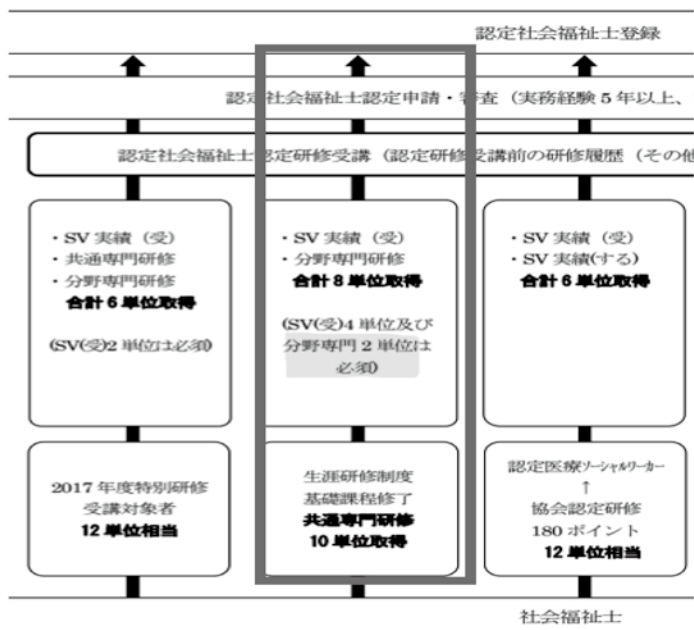
社会福祉士及び介護福祉士法の定義に定める相談援助を行うものであって、所属組織を中心にした分野における福祉課題に対し、倫理綱領に基づき、高度な専門的知識と熟練した技術を用いて個別支援、多職種連携及び地域福祉の増進を行うことができる能力を有することを認められた人のことを言います。

今回は、認定社会福祉士を取得する過程について、現在、認定社会福祉士を目指し自己研鑽しておられる伊藤誠吾さんにご紹介いただきます。

秋田で認定社会福祉士になる

伊藤 誠吾

私は、図1の太枠の生涯研修ルートでの認定社会福祉士を目指しています。そこで一つ問題がありました。それはマーカーで示した分野専門研修でした。私は障害福祉の分野専門研修が必要なのですが、障害福祉の分野専門研修を行っている場所を見つけれません



でした。ネットですべて探していると、東北福祉大学通信制大学院で認定社会福祉士の分野専門研修を通信で受けられることを見つけました。【履修証明プログラム】というもので、高齢、障害、児童など各分野の専門研修を受けられるというものでした。さらに探していくと、東北福祉大学通信制大学院では認定社会福祉士の分野専門研修のほかに、研究系科目（質的調査、量的調査、福祉プログラムなど）も勉強できる【科目等履修生】があることを知りました。

私は、日ごろの実践を見える化して、みんなでも共有したいと思っていたので、質的調査、量的調査等を勉強できる科目等履修生に応募し、合格しました。

【履修証明プログラム】、【科目等履修生】を受けるには、いずれも学士以上の学位等が必要であり、書類選考がありました。【履修証明プログラム】、【科目等履修生】で取得した単位は、将来、東北福祉大学大学院に進学した際に単位として認められ、論文作成のための研究に時間をさけるというメリットもあります。

今回の私の記事をきっかけに、みなさんが秋田での認定社会福祉士取得への具体的なイメージを少しでも持って頂けたら幸いです。



スーパービジョン 受講の感想

社会福祉士会の生涯研修制度に位置付けられているスーパービジョンを受講し、自らの成長、専門職としての実践力向上につなげているお二方から、受講のきっかけや感想をお聞きしました。

スーパービジョンを受講して

菊地 雅也

私は平成28年に社会福祉士を取得し一昨年基礎研修Ⅲを修了したのですが、基礎研修と共に学んだ方たちの学ぼうとする姿勢や、福祉に対してのストイックな姿勢に感化され、基礎研修修了後の学びも意識するようになり、スーパービジョンを受講し自己研鑽を継続しようと思えました。

またバイザーを引き受けてくださった伊藤政利さんは、私が社会福祉士会に入会する以前より他の職能団体で大変お世話になり、尊敬している一人です。伊藤さんのもとでスーパービジョンを受講したいというのもきっかけの一つでした。

そして今回スーパービジョンのテーマとして「指導力の向上」をテーマに合計6回行い、

回を重ねるごとに、自分では気づけなかったことや、新たな気付きを得る事が出来ました。一年かけて一つのテーマに向き合うという経験も今回初めてであり、自身の行動を振り返り、これからの行動に活かす大切さを学び大変貴重な経験となりました。

また今年も昨年に引き続きスーパービジョンを受講させて頂いておりますが、今後も会員の皆さんと交流しながら刺激を頂き、自己研鑽していきたいと思います。

スーパービジョンを通しての自己研鑽

工藤 摂子

皆さんは、スーパービジョンにどのようなイメージをお持ちでしょうか。認定社会福祉士制度スーパービジョン実施要綱には、

(1) 社会福祉士としてのアイデンティティを確立する

(2) 専門職として職責と機能が遂行できるようにする

(3) 個別支援・組織・地域のすべてのレベルにおける実践力を開発する

この3つが獲得目的であると書かれています。

私は(2)を強化したいと考え、スーパービジョンを受講しました。支援部門から管理部門へ異動となった上に、法人本部の管理職として自信がなかったのも理由でした。

スーパービジョンは、自己研鑽に大いにつながりました。長い期間、福祉に携わってきましたが、自分の方向性が間違っていないかを法人外のスーパーバイザーから確認してもらえたこと、さらに内容をブラッシュアップし、法人本部として各施設に適切にフィードバックできたことが大きな収穫であり、意義のある取組でした。

自分の今後の課題も明らかになり、(1)と(3)の獲得に向けて前進できるよう努めていきたいと思っています。



気分転換におすすめ エンタメ

皆さんは、普段どのように疲れを癒していますか。本や映画を見ながら気分転換を図るのはいかがでしょうか。会員からのおすすめを紹介합니다。

佐々木静香さん
のおすすめ

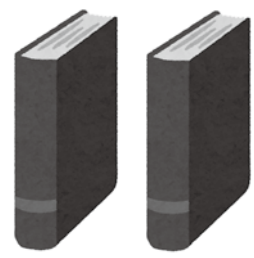


一、著書

著者：かがくいひろし
出版社：ブロンズ新社

「だるまさん」が・の・とシリーズ
子育て真最中の私のお勧めは、子供三人共にハマった大好きな絵本。赤いまんまるのだるまさんが楽しい音でコミカルに愛らしく動く。自然とスキンシップも取れて、声を出して笑い合い、愛のある空間が生まれる。障害児教育に携わり、作家へ転身後急逝した著者の人生にも注目したい。育児に仕事にちよつと疲れた時にも優しくなれる三冊です。

阿部 和弘さん
のおすすめ



稲盛和夫 一日一言 運命を高める言葉

著者：稲盛 和夫
出版社：致知出版社

昨年までの私は本とは無縁の生活を送っていましたが、法人内の異動で尊敬する上司と十数年ぶりに同じ職場になったことがきっかけで、私と本との関係は一変しました。その上司は「人間力を高めなさい」と色々な本や言葉を私に紹介してくださり、そのなかで出会ったのがこの本でした。幾度もの試練を乗り越え、道を切り拓いてこられた稲盛氏の言葉は、仕事に悩み苦しいとき、行き詰ったときにふと落ち着かせてくれるとともに今の自分の活力にもなっています。壁にぶつかって気分を変えたい方、そして私と同じように人間力を高めたい方にお勧めの一冊です。



菅原 崇さん
のおすすめ



二、映画

男はつらいよ 寅次郎相合い傘

シリーズ15作 マドンナは浅岡ルリ子

「海賊・キャプテンタイガー」になる夢から始まる本作は青森から函館に渡る寅さんと歌を歌いながら巡業するルリ子が再会するというストーリーが描かれています。女性の幸せに男性の力は借りないと主張するルリ子と漢気あふれる寅さんの意見が衝突して喧嘩してしまう場面「メロン騒動」、雨の柴又駅へルリ子を迎えに行く「相合い傘」はシリーズ屈指の名場面です。「つらく」なった時におススメの昭和風情を感じる傑作です。

～おしらせ～

本誌『秋田県社会福祉士会会報かぜ』は、読みやすさに考慮し、次号から横書きにリニューアルいたします。内容もより充実したものを目指しております。ご期待ください。
(広報委員会)

ペンリレー

能代市南地域包括支援センター 菊池 忠 豪

いつも勉強熱心な石原典子さんからバトンを受け取りました。能代市南地域包括支援センターの菊池忠豪です。新型コロナウイルス感染症も、今年の5月8日より5類感染症と位置づけられました。様々な対策は個人事業者の判断に委ねられるようになり、多くのイベントが盛り上がりを見せられています。5月8日を境に線が引かれたように感じています。感染流行の当初は、罹患された方とされていない方との間や、自粛している方と自粛されていない方との間など、見えない線がたくさんありました。県内在住者と県外在住者の間にもありましたね。

最近、長男がクラブ活動で野球をはじめました。慣れないながらも少しずつ成長する姿はとても頼もしく感じています。少子化によりクラブ活動はいくつかの小学校が合同で実施していますが、初めのうちは子どもたちには学校と学校の間に見えない線が見えていたように感じます。相手たちと自分たちを線で分けることで、自分たちのアイデンティティが守られるような気持ちになるのかもしれないかもしれません。その線が日々の練習や試合を通していくことで次第に薄くなり、なくなり、目標に向かって一致団結していく姿には感動を覚えました。

見えない線は、私たちの複雑な世界を整理してくれる便利なものである一方で、怖いものでもあると思います。私にも多くの物ごととの間にたくさんの線が引かれています。子どもたちがその線乗り越えていくことができるように、大人の私にも乗り越えられるのだと考えています。

次はいつも優しく、頼れる先輩のわたなべ内科医院事務長の菊池雅也さんへバトンをお渡しします。



編集後記

6月に今年度初の広報委員会ミーティングが開かれました。ここ数年間はオンラインでの開催です。広報委員会は現在、県南、中央、県北の会員10名で活動しています。知っている情報やアイデアを持ち寄り、何か関心を持っていただけのような話題はないかと考えを巡らせる。そこでの情報交換が新たな気づきや、学びにもつながっています。

次回（57号）は4月の発行を予定しています。皆さん楽しみにしてくださいください。

